

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

人権尊重を最優先としたうえで、抜本的な企業風土・ガバナンス改革に取り組み、グループの中長期的な企業価値の着実な向上を目指す。

政策保有株式売却額
1,000億円超

政策保有株式比率
15%未満

成長投資規模
2,500億円規模

ROE目標
8%以上

② 中長期の経営戦略

1. 人権・コンプライアンス意識改革

人権デューデリジェンス実施、心理的安全性向上、研修・ガイドライン策定、多様な人材活躍促進、エンゲージメントスコアを経営目標に反映。

3. グループ成長戦略推進

フジテレビジョン：コンテンツ・カンパニーへの進化、ドラマ・映画・アニメ増強、配信事業拡大、生成AI・DX活用。ポートフォリオ最適化、都市開発・観光分野成長加速。

2. 抜本的なガバナンス改革

独立社外取締役が過半数、女性比率原則3割以上、リスクポリシー委員会設置、指名・報酬委員会設置、取締役定年制・在任期間制限導入、相談役・顧問制度廃止。

4. 資本収益性の向上

政策保有株式3年以内に1,000億円超売却、営業キャッシュフローを成長分野に集中投資、2029年度までに1,000億円超の自己株式取得、連結配当性向50%を目途。

③ 対処すべき課題

① 人権・コンプライアンス問題への対処

- ・フジテレビジョンの人権・コンプライアンス事案への抜本的改革実施
- ・グループ人権委員会立上げ（社長委員長、人権専門弁護士が副委員長）
- ・人権尊重を経営中心に置く企業文化構築

② 地上波テレビ事業の構造改革

- ・放送中心からコンテンツ基軸への抜本的改革
- ・IPやコンテンツ事業を通じた新たな成長機会の創出
- ・非効率・不採算部門への対応加速

③ 経営体制の透明性・実効性強化

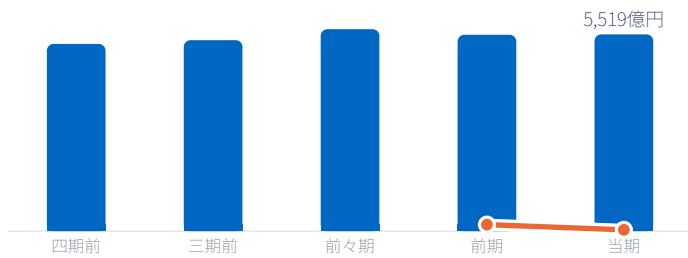
- ・役員指名・意思決定プロセスの透明性向上
- ・指名委員会等設置会社への移行検討
- ・長期権限滞留防止のための制度導入

面接で使えるポイント

- ・人権尊重を経営中心に置き、グループ全体の企業風土改革に強い決意で取り組む姿勢。
- ・フジテレビジョンのコンテンツ・カンパニー化により、配信・IP・アニメなど多様な収益構造への進化。
- ・政策保有株式1,000億円超売却や5年間2,500億円の成長投資により、資本効率とグループ企業価値向上を実現。

証券コード 4676

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
5,519億円営業利益率
▲1.6%財務健康度
32点 / 100点

要するに

認定放送持株会社として89の子会社と48の関連会社から構成されるメディア・コンテ

主力事業・セグメント

- ・メディア・コンテンツ 64.5%
- ・UrbanDevelopment 35.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高5,519億円の事業規模
- ・平均勤続23.3年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 雨 / 就活偏差値 63.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,577万円

情報・通信業内 3位/592社

平均年齢
50.5歳

情報・通信業内 10位/593社

平均勤続
23.3年

情報・通信業内 1位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

